

東北医科薬科大学分子生体膜研究所  
「箱守仙一郎賞」(Sen-itiroh Hakomori Glycoscience Award) 規約

平成 30 年 6 月 28 日  
東北医科薬科大学分子生体膜研究所  
井ノ口 仁一

名称	箱守仙一郎賞
授与機関	東北医科薬科大学分子生体膜研究所
目的	生物系化学系を問わず広く糖鎖科学を専攻し、日夜努力を続けている東北エリアの研究者を顕彰することにより、日本の糖鎖科学研究の増進を図る。
賞の種別	奨励賞 1～2名 顕彰楯および副賞 優秀論文賞 1～2名 顕彰楯および副賞
対象	(1) 奨励賞：東北エリア（新潟県および群馬県を含む）で研究に従事する応募時 45 歳までの研究者 (2) 優秀論文賞：同地域で研究に従事し、申請時点で大学院生もしくは博士研究員である者 * いずれも指定された期間内に発表（accepted でも可）された学術論文に対して審査・授与する。 <b>第2回箱守賞の応募対象論文は、2017 年 10 月1日から 2018 年 8 月 31 日までに発表または受理された原著論文です。</b>
選考方法	自薦および他薦によるものとし、東北糖鎖研究会世話人が審査する。評価を点数化（次項参照）して決する。
授賞方法	東北糖鎖研究会開催時に授賞および受賞講演を行う。
運用方法	顕彰楯および副賞の購入費は、箱守賞基金を原資とし、分子生体膜研究所がこれを支弁する。
その他	事務局は分子生体膜研究所内に置く。

## 審査

### (1) 応募資格および応募方法

東北6県、新潟県および群馬県（東北糖鎖研究会エリア）で研究を行っている45歳以下の糖鎖科学研究者（大学院生、博士研究員は自動的に優秀論文賞へのノミネートとなる）。対象論文は、その年度内（ただし応募締切以前）にImpact factorが付与されている英文学術雑誌（査読有）に出版、または掲載が決定されている原著論文（acceptedでも可）とし、応募者が筆頭著者となっているものとする。要旨和訳と論文PDFを添えて既定のエントリーフォームに記入してメールにて応募する。化学系・生物系は問わない。自薦および他薦どちらでも受け付ける。応募期間等についてはその都度決定し、周知する。

書類送付先：東北医科薬科大学 分子生体膜研究所 所長 井ノ口 仁一

メールアドレス：[jin@tohoku-mpu.ac.jp](mailto:jin@tohoku-mpu.ac.jp)

### (2) エントリーフォーム（別添）

### (3) 審査委員および審査方法

- 1) 分子生体膜研究所所長が審査員長を務める。
- 2) 東北糖鎖研究会世話人が審査員となる。ただし、世話人が推薦者または自薦者の所属責任者あるいは論文の共著者である場合は審査に参加しない。
- 3) 期限内に提出された論文について事務局が一次審査（下記基礎点による）を行い、奨励賞および優秀論文賞それぞれ上位3報を選定する。
- 4) 上位3報について審査員が下記評価項目を採点し、全員（その都度人数は異なる）の評価平均点+基礎点（100点満点、1点未満は四捨五入）から最上位者を受賞者として決定する。
- 5) 最高点が複数出た場合は審査員長の判断に委ねる。

基礎点		評価最高点		
Impact factor	2.0 未満	10 点	独創性	10 点
	4.0 未満	20 点	インパクト（重要性）	10 点
	6.0 未満	30 点	論文構成	10 点
	8.0 未満	40 点	将来性	10 点
	10 未満	50 点		
	10 以上	60 点		